

3. 経済学部・経済学研究科

(1) 経済学部・経済学研究科の研究目的と特徴	・・・	3-2
(2) 「研究の水準」の分析	・・・・・・・・・・・・・・・・	3-3
分析項目Ⅰ 研究活動の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	3-3
分析項目Ⅱ 研究成果の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	3-6
【参考】データ分析集 指標一覧	・・・・・・・・	3-7

(1) 経済学部・経済学研究科の研究目的と特徴

1. 学部・研究科内の研究目的

本学部・研究科では社会科学の総合学部として、自治体・企業・高等教育機関との連携により、地域課題の解決に向けた研究や、東アジアを俯瞰した学際的な研究プロジェクトを推進し、その成果を広く世界・全国に向けて発信し、研究者や一般市民等に広く還元することを目的としている。

2. 産学・地域社会連携・独立行政法人とのプロジェクトの推進

本学部・研究科は地域社会や産業界との提携の深化を図っている。教育面だけでなく研究における連携を見据えて地域の自治体や公的機関との提携プログラム（JICAとの提携等）の展開に努めるとともに地域における政策形成の場で研究の成果を踏まえた貢献に取り組んでいる。

3. 海外提携大学との研究交流の推進

本学部・研究科は、韓国中国及び台湾の大学との間で、研究者の交流や学生の交換留学を実施している。極東地域研究センターと共に北東アジア学術ネットワーク（NAAN）を組織して研究集会を定期的で開催するとともに、環境や東アジア共生などの学際的テーマに取り組むべく国際的な研究交流に取り組んでいる。

4. 研究成果の発信

研究者間の交流、研究シーズの発掘、共同研究の推進及び社会、一般市民への研究成果の還元を目的に、公開講座の開講や北陸地域政策研究フォーラム等のシンポジウムへの参加により研究成果の発信を行っている。

5. 研究の質の向上

優れた基礎的・基盤的研究を推進するため科研費コーディネーターを配置し、研究内容や申請に関するアドバイス等を行うことにより、科学研究費助成事業申請数を増加させ採択件数を増加させる。

(2) 「研究の水準」の分析

分析項目Ⅰ 研究活動の状況

<必須記載項目 1 研究の実施体制及び支援・推進体制>

【基本的な記載事項】

- ・教員・研究員等の人数が確認できる資料（別添資料 3703-i1-1）
- ・本務教員の年齢構成が確認できる資料（別添資料 3703-i1-2）
- ・指標番号 11（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 教育研究能力の向上のため、第2期中期目標期間から引き続き、学部長特別配分経費による派遣研究員等の学部内公募を実施している。これにより、海外研究機関に2名（イギリス、オーストラリア、各1名）を派遣した（別添資料 3703-i1-3）。
また、平成28年度から短期の海外実習に係る学部内公募も実施しており、令和元年度は7人の教員から申請があり全員に支援を行った（別添資料 3703-i1-4）。[1.1]
- 科学研究費助成事業申請（以下「科研費」という。）の増加に向け、申請期間中に申請状況調査を行い、未申請者に対して学部長が個別面談等を行った結果、新規申請数が平成29年度の25件から平成31年度の49件に増加した。
また、学部内に科研費相談員3人（学部教員）を配置して、申請書の作成方法に関して助言する体制をとっており、平成28年度から平成30年度までの新規採択件数が平均4.3件だったところ、令和元年度は12件に増加した。[1.1]
- 平成30年度に、科研費による研究を行っている教員のうち、科研費で旅費・謝金を執行した者及び執行残額が多い者の中から抽出した数名について、学部長が、研究不正防止のモニタリング及び教員の研究計画を把握するための面談を行った。
これにより、当初の執行計画から著しく遅れが生じている教員に対して、研究の進捗を促すとともに、繰越、返還等の手続きに関する指導を行った（別添資料 3703-i1-5）。[1.1]

<必須記載項目 2 研究活動に関する施策／研究活動の質の向上>

【基本的な記載事項】

- ・構成員への法令遵守や研究者倫理等に関する施策の状況が確認できる資料（別添資料 3703-i2-1～8）
- ・研究活動を検証する組織、検証の方法が確認できる資料（別添資料 3703-i2-9～11）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 教員公募の際に、若手及び女性の採用奨励を実施した結果、平成28年度から令和元年度までの間の若手教員9名（うち女性3名）の採用に繋がった。
これにより若手教員比率は平成29年度の15%から令和元年度は21.7%、女性教

富山大学経済学部・経済学研究科 研究活動の状況

員比率は平成 29 年度の 13.3%から令和元年度は 24.6%に向上している。[2.2]

<必須記載項目 3 論文・著書・特許・学会発表など>

【基本的な記載事項】

- ・研究活動状況に関する資料（社会科学系）（別添資料 3703-i3-1）
- ・指標番号 41～42（データ分析集）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目 4 研究資金>

【基本的な記載事項】

- ・指標番号 25～40、43～46（データ分析集）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<選択記載項目 A 地域連携による研究活動>

【基本的な記載事項】

（特になし）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- 大学全体で実施している、「次世代スーパーエンジニア養成コース」において、産業界、自治体等と協働して産業技術論に関する講義等を実施するなど、高い専門性、経営能力等を兼ね備えた人材の育成に取り組んでいる（別添資料 3703-iA-1）。
- 研究の成果や得られた知見に基づき、研究会や委員会、審議会等で専門的視点から政策提言等を行っているほか、国・地方公共団体・産業界等との連携活動件数も年々増加している（別添資料 3703-iA-2）。[A.0]

<選択記載項目 B 国際的な連携による研究活動>

【基本的な記載事項】

（特になし）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- 国際的な研究の実施を目指し、共同研究等を実施している教員について、海外出

張を実施している。(別添資料 3703-iB-1) [B.1]

<選択記載項目 C 研究成果の発信／研究資料等の共同利用>

【基本的な記載事項】

(特になし)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 北陸地域の研究者の交流、研究シーズの発掘、共同研究の推進、研究成果の社会への還元を目的とした北陸地域政策研究フォーラムを北陸地区で開催している(年1回開催)。平成30年3月には第9回北陸地域政策研究フォーラムを本学の経済学部にて開催し、自由論題研究発表の他、「北陸新幹線」に関するテーマでシンポジウムを実施した。本学部教員は司会を務めたほか、7件の報告を行った。(別添資料 3703-iC-1) [C.1]

- 一般市民向けの公開講座及びサテライト講座において講義を実施し、研究成果等を地域に積極的に発信している(別添資料 3703-iC-2)。[C.1]

<選択記載項目 D 学術コミュニティへの貢献>

【基本的な記載事項】

(特になし)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 学会等における講演や、裁判所における研修会における法改正の講義等の実施により、学術コミュニティへの貢献を果たしている(別添資料 3703-iD-1)。[D.0]

分析項目Ⅱ 研究成果の状況

<必須記載項目1 研究業績>

【基本的な記載事項】

- ・研究業績説明書

(当該学部・研究科等の目的に沿った研究業績の選定の判断基準)

富山大学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の研究を行うことを目指している。この目的を踏まえ、経済学部・経済学研究科では、経済学、経営学、法律学はもとより、政治学、歴史学、社会学など、人や組織が互いに関わりあって営まれる視野からの学術研究を図っている。研究業績の選定にあたっては、経済学部として、経済政策・経済史・労働経済・公法・私法・経営学を重点研究分野としていることから、これらの分野の中から特に優れた業績等を選出した。

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

(特になし)

【参考】データ分析集 指標一覧

区分	指標 番号	データ・指標	指標の計算式
5. 競争的外部 資金データ	25	本務教員あたりの科研費申請件数 (新規)	申請件数(新規)／本務教員数
	26	本務教員あたりの科研費採択内定件数	内定件数(新規)／本務教員数 内定件数(新規・継続)／本務教員数
	27	科研費採択内定率(新規)	内定件数(新規)／申請件数(新規)
	28	本務教員あたりの科研費内定金額	内定金額／本務教員数 内定金額(間接経費含む)／本務教員数
	29	本務教員あたりの競争的資金採択件数	競争的資金採択件数／本務教員数
	30	本務教員あたりの競争的資金受入金額	競争的資金受入金額／本務教員数
6. その他外部 資金・特許 データ	31	本務教員あたりの共同研究受入件数	共同研究受入件数／本務教員数
	32	本務教員あたりの共同研究受入件数 (国内・外国企業からのみ)	共同研究受入件数(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	33	本務教員あたりの共同研究受入金額	共同研究受入金額／本務教員数
	34	本務教員あたりの共同研究受入金額 (国内・外国企業からのみ)	共同研究受入金額(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	35	本務教員あたりの受託研究受入件数	受託研究受入件数／本務教員数
	36	本務教員あたりの受託研究受入件数 (国内・外国企業からのみ)	受託研究受入件数(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	37	本務教員あたりの受託研究受入金額	受託研究受入金額／本務教員数
	38	本務教員あたりの受託研究受入金額 (国内・外国企業からのみ)	受託研究受入金額(国内・外国企業からのみ)／ 本務教員数
	39	本務教員あたりの寄附金受入件数	寄附金受入件数／本務教員数
	40	本務教員あたりの寄附金受入金額	寄附金受入金額／本務教員数
	41	本務教員あたりの特許出願数	特許出願数／本務教員数
	42	本務教員あたりの特許取得数	特許取得数／本務教員数
	43	本務教員あたりのライセンス契約数	ライセンス契約数／本務教員数
	44	本務教員あたりのライセンス収入額	ライセンス収入額／本務教員数
	45	本務教員あたりの外部研究資金の金額	(科研費の内定金額(間接経費含む)＋共同研 究受入金額＋受託研究受入金額＋寄附金受入 金額)の合計／本務教員数
	46	本務教員あたりの民間研究資金の金額	(共同研究受入金額(国内・外国企業からのみ) ＋受託研究受入金額(国内・外国企業からのみ) ＋寄附金受入金額)の合計／本務教員数